

国際的な化学物質管理強化のための拠出金等



【令和7年度要求額 172百万円（138百万円）】

地球規模での化学物質の適正管理の枠組みに積極関与し、国際的なルールメイキングを主導します。

1. 事業目的

- ・化学物質に関するグローバル枠組み（GFC）や化学物質等に関する政府間科学・政策パネル（SPP）事務局への戦略的拠出を通じ、各作業部会・地域会合等の議論・活動を主導し、国際的な化学物質管理における我が国のプレゼンス向上、将来的な下部組織の誘致等を目指す。
- ・条約事務局、国際機関への拠出金・分担金を通じ、地球規模での化学物質の適正管理の枠組みに貢献する。

2. 事業内容

① GFCに係るUNEPへの拠出

GFCのアジア・太平洋地域のフォーカルポイント及び進捗管理指標会議長の職務を円滑に遂行するための拠出を行う。具体的には以下を実施する。

1. アジア・太平洋地域会合等において、同地域における化学物質管理の法制度の動向や課題等に関する情報交換会合を開催するとともに、我が国の化学物質管理の先進的な取組について周知を行う。
2. 進捗管理指標会合やアジア・太平洋地域会合を効果的に開催する。

② SPPに係るUNEPへの拠出

円滑な活動開始に主導的に貢献し、将来的な下部組織誘致等、本活動の我が国への波及効果拡大を目指すため、日本人専門家の派遣等によるパネル事務局支援のための拠出を行う。

③ その他条約事務局・国際機関への拠出金・分担金

3. 事業スキーム

- 事業形態 拠出金
- 拠出先 国際機関
- 実施期間 令和5年度～（組み替え）

4. 事業イメージ

2020年以降の新たな国際化学物質管理枠組み

化学物質に関するグローバル枠組み（GFC）：
多様な分野、多様な主体による自主的取組として、条約でカバーされない幅広い課題に対応

化学物質等に関する科学・政策パネル（SPP）：
複雑な化学物質汚染の現状に対して、科学的知見を集約した課題特定・評価、対応オプションの提示



【我が国への波及効果（例）】
国際的な化学物質管理における我が国のプレゼンス向上
我が国の化学物質管理制度等に整合した国際指標の制定
国内の先進事例（実施計画等）の国際的評価獲得
将来的な下部組織の誘致 等